

在宅領域の臨床研究についてー緩和ケア黎明期の経験から

聖隷三方原病院 緩和支援治療科 森田達也

本発表では、緩和ケアにおける臨床研究の黎明期に演者が考えていたことについて、在宅領域での参考になるかもしれない点について述べる。扱う内容は、在宅領域の臨床研究課題の特徴、臨床研究の具体例として終末期輸液、施策研究の具体例として緩和ケアの地域介入研究（OPTIM 研究）を予定している。「緩和ケアのかの字もなかった時代、もちろん研究インフラもなかったし、研究方法論も知りなかった時代にどのようなことを考えて実行していたかを多少なりとも関心をもってきいていただけると幸いです